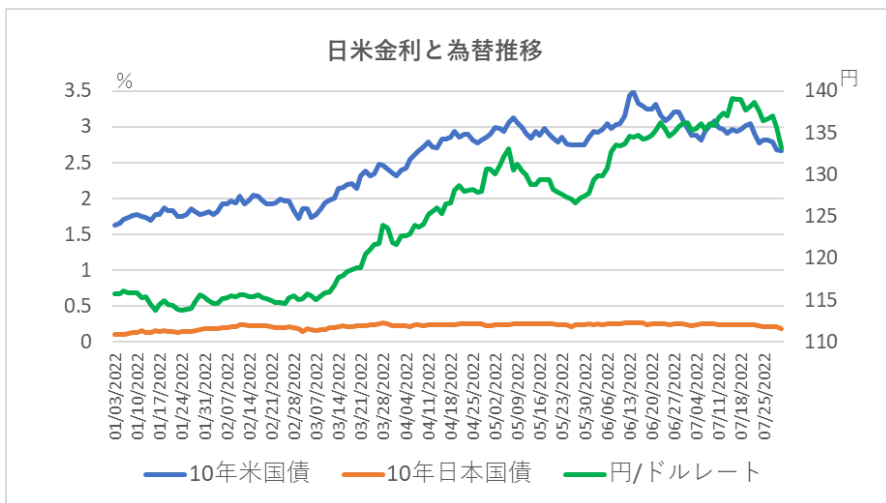


## ATTENTION

### 日銀への信認はなくなっている



このグラフは、日本と米国の10年国債と円/ドルレートの今年の推移を見たものです。これを見ると、日本と米国の金融政策の違いが際立ってきます。年初の利回りは日本国債が0.1%、米国債が1.6%。そして、日本国債は上がったとはいえ0.2%。日銀が0.25%で無制限の買い付けを行っているので頭打ちです。一方、米国債は連邦準備理事会(FRB)の金利上げへの政策転換で、一時は3.5%まで上昇、7月末現在は2.7%となっています。では、円/ドルレートはその間どうなっただしょう。緑の折れ線がそれを示していますが、年初の115.7円から15.1%の円安です。むべなるかな！FRBはインフレ撲滅に大きく方向転換して、容赦なく金利を上げます。高い金利目当てに、米ドルに資金が向かうから、米ドルが高くなるのは至極当然です。一方の日銀。かたくなに金利抑え込みにかかり、0.25%で10年国債を無制限購入。日本の物価もかなり上がっていて、日銀のちぐはぐさが目立ってきています。そして、日銀の政策が実体経済に効かなくなっていることが危惧される状況です。50兆円にも及ぶ日銀の日本株買いも、どういう効果があったのか。今となっては、何の意味もなかったという感が否めません。逆に、その株は一体どうするのか、心配する方に思いが行ってしまいます。日銀の取り組み姿勢は、市場に耳を傾けず、かたくなに突き進むばかり。これではますます日銀への信認はなくなります。

## COLUMN

### 才能よりやり続けることが大事

大変勇気づけられる米国の著作がありましたので紹介しましょう。

才能がものをいうという人が多いが、それは全く関係ない。やり続ける力、気骨(Grit)が大事だ。言い換えると、熱意と忍耐力。また才能とやり続ける力は関係ない。そしてその努力の質も、かける時間と同じように大事だ。その努力の質とは：

1. 一点に集中してそれを改善する努力をする。
2. この努力一本に100%集中する。
3. どうしたらよくなるか絶えず考え、1~3を繰り返す。

幸せとやり続ける力と成功は互いにつながっている。やり続ければ幸せが来て、やり続けていると、自分の関心や価値がつながり始め、よい複合効果をもたらす。また幸せを求めるには、目的意識が大事。そして、そうやっていれば、人々に感謝される。やり抜こうとしている人は、親切心、感謝の気持ち、同情心、好奇心がある。そしてそれらはつながっているのだ。

齢を取ると適応力、柔軟性、革新性、創造力がなくなるといわれるが、そんなことはない。どんなに齢を取っても向上する。行動経済学でノーベル賞を取ったカーネマンは、80歳をはるかに超えた今もバリの現役だ。若者と同じように研究に没頭している。やり続けようとする力がなくなることはない。年齢は関係ない。これが人生を素晴らしいものにするやり方だ。

いかがですか。私たちはかなり先入観に影響されています。このような取り組み方はかなり真実を感じます。

出典：Grit-The Power of Passion and Perseverance by Angela Duckworth

## MARKET

	(7月末)	(6月末比)
日経平均	27,801.64円	+1,408.64円 (+5.34%)
NYダウ	32,845.13ドル	+2,069.70ドル (+6.73%)
米ドル	133.19円	-2.61円 (-1.92%)

## 私の書棚より

興奮も倦怠も、快樂も苦慮も、すべて  
明るい心で受け入れなければいけない。  
何となれば、それらはすべて、意匠  
(人間性)の豊かさを加える物にほかな  
らないからだ。

-人間の絆 サマーセット・モーム

安倍元首相暗殺に見る日本の病巣

「安倍元首相が銃撃されて、心肺停止の状態」。昼過ぎ、昼食が来るのを待ちながら、スマホを見ていたら、こんなニュースが飛び込みました。思わず、隣に座っている人に教えてやろうか、店にいる人みんなに叫んでやろうかと思っしまいました。かろうじて、それは抑えましたが、そのあとは、何とか助からないものかと、入ってくるニュースを追っていましたが、安倍昭恵夫人が夕刻に治療を受けている病院に入った後、まもなく安倍元首相の死亡が発表されました。

安倍元首相は、8年7か月、日本史上最長の政権在任期間を誇り、いまでも安倍派を率いて、積極的に政策提言を行っていました。数年もすれば、第3次安倍政権を組成するのではないかという雰囲気も十分ありました。ただ、時期が早かっただけです。さらに海外での評価は、率直で、安倍氏に対する賛辞、哀惜の念を表す国家首脳は後を絶たず、それが心底から出ているため、深く胸に響くのです。私の印象からは、国内より海外の評価のほうが高かったと見えます。政治や野党が絡むと、どうしてもそうなるのでしょうか。私も、献花が行われた増上寺に行きましたが、その待つ人々の長さたるや、まさに延々と続いていました。改めて、国民が安倍元首相を失ったことに深い哀惜、寂情の念を持っていることをつくづく感じました。

さて、もっともうなずけないのが、どうしてこんな簡単に、安倍元首相が銃弾に倒れてしまったのか、これには

ほとほと呆れました。撃たれないことが当たり前で、撃たれることは本来あり得ないのです。その銃撃した人物の映像が数分間にわたり、映っていますが、まさに警戒されることなくうろついて、機会を伺っているのがよくわかります。安倍元首相の後ろを警戒するSP、警察の警備員はよく見ていなかったのです。そのため、背後にいた山上容疑者は、うろつきながら機会をうかがい、車が行き交う通りを横切って、1発、2発と撃てたのです。その1発目の後、山上容疑者に跳びかかること、安倍元首相を伏せさせることもなく、致命傷となる2発目を撃たせてしまいました。

これは、歴史に残る警察の大失態です。「おまえら、どこ見ていたんだ！」と思わず叫びたくなるほど怒りを感じますが、まさにここにも「役人たちの平和ボケ」を感じます。長年やっている、慣れが生じ、ただ漫然とやっているという傾向が出てくるのです。さらに遠慮せずに言うと、表向きを整え、やっているふりをしているという風になり、それが組織に蔓延するということです。これはいまでは日本の政府・官僚システムに巣食う深い病巣といってもよいでしょう。ただ「申し訳ありませんでした」で頭下げて、表向き処分して終わりというのがいつものパターンです。企業の不祥事も相変わらず続きますが、今回の悲劇を見ての通り、政府・官僚システムにも、その病巣が深く入り込んでいるのです。この状態ですと、これからもこういう悲劇や不祥事はまだ延々と続く我々は覚悟したほうがいいでしょう。それだけ、日本の病巣は深いのです。

まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売っていただくのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観のもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス  
代表 尾藤 峰男  
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス  
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386  
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp